# ADplit（アドプリット）

**N-ベンゾイル-DL-アルギニルペプチダーゼ測定試薬**

**本試薬は、診断もしくはその補助の目的で使用することはできません。**

## 使用説明書

### 1. はじめに

本製品は、犬の歯周病病巣から高頻度に検出される *Porphyromonas gulae* から特異的に産生されるトリプシン様酵素である N-ベンゾイル-DL-アルギニルペプチダーゼの酵素活性を測定します。人の歯周病原因菌で重要視されている3菌種（*Porphyromonas gingivalis*（*P.g*）, *Tannerella forsythia*（*T.f*）, *Treponema denticola*（*T.d*））においても、本酵素活性を有しています。

### 2. 測定原理

テストプレート上には、BANA（N-ベンゾイル-アルギニル β-ナフチルアミド）基質を含む基質ディスクがセットされています。BANA 基質は検体中に測定対象の酵素が存在すると、酵素活性により基質が分解され、β-ナフチルアミドが遊離します。続いて、発色液である4-（ジメチルアミノ）－シンナムアルデヒドを滴下すると、遊離したβ-ナフチルアミドと反応し、ピンク～赤紫色の化合物が生成されます。

### 3. キット構成〔10テスト用〕

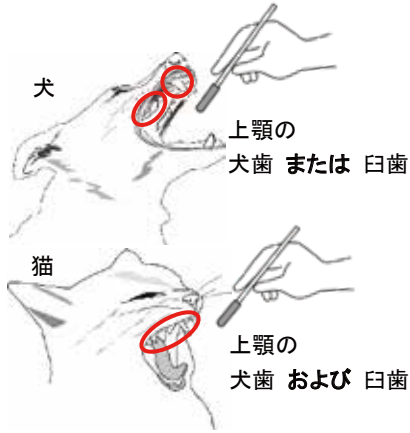
（1）　滅菌綿棒（スポンジ綿棒）：10本
（2）　検体抽出液〈A 液〉：10本
（3）　テストプレート：10枚
（4）　発色液〈B 液〉：1本
（5）　検体抽出液チューブスタンド（組立式）：1枚

### 4. 使用方法

**※<u>本製品を使用する際はしっかりと常温へ戻してからご使用ください。</u>**

（1）歯の表面をぬぐい、検体を採取

製品に付属の滅菌綿棒を用いて、犬は上顎の犬歯または臼歯、猫は上顎の犬歯および臼歯を綿棒の **<u>白い面</u>**を歯と歯肉の境目付近の歯面にしっかりと密着させて、3回以上ぬぐってください。歯又は歯列の遠心（尻尾側）から近心（鼻側）に向けて ぬぐってください。ぬぐう際は、綿棒を回転させ、白い面を両面とも使用してください。



検体および検体採取タイミングについて

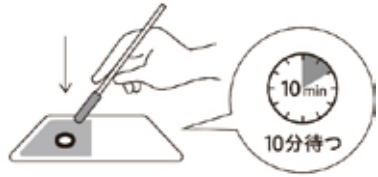
①唾液での測定はできません。
②本製品は歯周病原因菌が産生する酵素を測定するため、唾液が大量に出る食後、歯磨き後、口腔ケア製品使用後は菌が減少し、酵素量も減少します。食後又は口腔ケア製品を使用された場合は、目安として2時間以上空けてご使用ください。
③検体採取後はすぐに検査をすることを推奨します。

（2）検体抽出液（A 液）に浸けて攪拌

検体採取後の綿棒を、ゆっくりと検体抽出液（A 液）に浸け、液が飛び跳ねないように10回まわし、攪拌します。

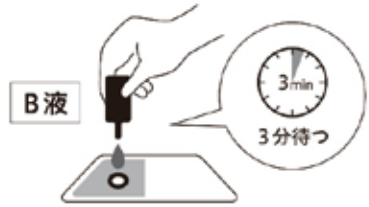
（3）テストプレートに押し当てる

（2）の作業後すぐに、綿棒の緑色の部分をテストプレートの判定部”○“部分に5秒間しっかりと押し当ててください。10分間待ちます。




（4）発色液（B 液）を1滴落とす

（3）の作業後10分間経過したら、テストプレートの判定部”○“部分に発色液（B 液）を1滴だけ滴下してください。3分間待ちます。




（5）色見本で判定

（4）の作業後3分間経過したら、テストプレートにある「色見本」を用いて、目視で5段階のスコア値を判定してください。数値が高いほど酵素活性が高いことを示します。また、5分以上経過すると本来の発色と異なる結果となりますのでご注意ください。

## 5. 使用上の注意

（1）製品の使用に関して

①発色液の取扱いに関して

本製品で使用する発色液には1N の塩酸が含まれていますので、万が一皮膚についた場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。使用後のテストプレートや残った発色液は次亜塩素酸ナトリウムなどアルカリ性の物質に浸漬しないでください。塩素ガスが発生する危険性があります。残った液の廃棄にあたっては、水質汚濁防止法などの法令に従って処理してください。

②妨害物質および判定の妨害になる物質に関して

多くの歯磨き剤、洗口液は酵素活性測定を阻害しませんが、ポピドンヨードは反応を阻害することを確認しています。また、血液が混入すると血液自体による阻害等は発生しませんが、血液の色と発色の見分けがつきにくいため、血液が混入した際は、再度検体採取を行い、血液の混入がないようにしてください。

③抗生物質の服用に関して

抗生物質を服用している場合は、正しい結果が得られない場合がありますので、ご留意ください。

④検体採取に関して

検体抽出液に浸した綿棒での検体採取は絶対に行わないでください。また、製品に付属している綿棒以外は絶対に使用しないでください。

⑤判定に関して

本製品は酵素反応を用いています。使用方法で決められた操作時間は、必ず守ってください。判定部に部分的な発色の違いが見られた場合は、一番濃い部分で判定してください。また、発色液滴下後に判定部が黄色くなることがありますが、ピンク～赤紫色の発色が無ければスコア値「1」としてください。

（2）その他

**①キットを冷たい状態で使用すると発色が弱くなる恐れがあるため、しっかりと常温に戻してから使用してください。**

②検体は、感染の危険性があるものとして取り扱ってください。ご使用にあたっては、感染を避けるため、使い捨ての手袋、マスク等を着用してください。

③検体又は調製した検体抽出液が飛散した場合には、消毒用エタノール等を用いて消毒し、拭き取ってください。

④使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

⑤キットは貯蔵方法を守って2～10℃で保管してください。直射日光の当たる場所には置かないでください。

⑥テストプレートは使用直前にアルミ包装を開封し、取り出したテストプレートは直ちに使用してください。アルミ袋から取り出したテストプレートは、再保管出来ません。

⑦使用後のテストプレートや残った検体抽出液は、感染性の微生物が含まれている可能性を考慮し、各施設の規定に従って、適切な方法で廃棄してください。

## 6. 貯蔵方法・有効期間

貯蔵方法：2～10℃（直射日光を避けて保管）

有効期間：使用期限は外包装に表示

## 7. 製品情報お問い合わせ先

共立製薬株式会社　学術
〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目11 番5 号　　電話番号:03-3264 -7556

**販売元**

共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-6-5　＊

**製造元**

ADMEC アドテック株式会社

® 登録商標